

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 1 号

令和 6 年 4 月 12 日
南島原市立堂崎小学校
校 長 末吉 優

新年度が始まりました よろしくお祈りします

2週間ほどの春休みを終え、堂崎小学校にも子供たちの明るい笑顔と弾む声が戻ってきました。令和6年度は、新しく19名の新入生を迎え、全校児童107名としてスタートしました。



職員も、新しく5名が加わり、新体制でのスタートとなりました。堂崎小学校教職員チームのメンバーは、下表のとおりです。職員



間で対話を重ねることで子供の成長を考え、よりよい習慣形成を目指して子供たちに関わって参ります。保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御支援のほど、よろしくお願いいたします。

担 当	氏 名	備 考	担 当	氏 名	備 考
校 長	末吉 優	深江小より	専科・TT	津山	2年目
教 頭	永田	3年目	専科・TT	一ノ瀬	2年目
1年1組	永田	5年目	養護教諭	田口	4年目
2年1組	本多	4年目	事務職員	坂田	新規採用
3年1組	野中	日野小より	特別支援教育助手	峰	2年目
4年1組	上田	3年目	特別支援教育助手	平	南有馬小より
5年1組	武田	2年目	学校支援員	荒木	6年目
6年1組	崎田	3年目	用務員	松尾	3年目
たんぽぽ	松島	6年目	EAT	エン先生	2年目
ひまわり	林	長与小より			

子供たちとの出会い…… 着任式から

4月8日(月)は、5名の職員が着任をしました。児童を代表して、企画委員会6年生の が、「堂崎小学校は兄弟のように仲が良く元気な学校、海と山に囲まれたに自然と優しい地域に囲まれた学校、様々な行事をみんなで力を合わせて頑張る学校」と紹介しました。「先生方との出会いにより、さらに知恵や工夫を出し合って考える子をめざし、チャレンジしていく」と決意と歓迎の言葉を述べました。



各先生方の挨拶や代表児童の話聞いていた、2年生以上の子供たちも真剣なまなざしで、新たな一年の始まりにやる気を感じていました。

1 学期始業式における校長としての話から

堂崎小学校107名のみなさん、おはようございます。

(始めの礼に合わせて礼をする姿を感じました。また、気持ちの良い元気な挨拶が帰ってきました。)

一つ学年が上がり、新しい学年の始まりです。進級おめでとう。

どんな一年にしたいですか。新しい学年の「自分の目標」を立てましたか。

その夢や希望をかなえるために、自分の学びや生活を自分たちの力でつくってほしい。(大きく三点)

一つ目は、にこにこ笑顔のあいさつ。出会ったら相手と「目を合わせ」、自分から「進んで」、「笑顔」のあいさつをしていこう。そうすれば、きっと相手の人は気持ちよくなり、さらに仲良しになれる。すると、お互いに元気になれる。学校だけでなく、おうちの人や地域の方ともあいさつを交わしていこう。

二つ目は、自分が得意なこと、夢中になれることを見付け、伸ばすこと。学校の学習や生活の中で大好きなこと、夢中になって取り組めることを見付けてほしい。

スポーツや習い事などを夢中になって取り組んでいるとき、ちょっと難しいけど調べたり挑戦したりしているとき、その時その瞬間がその人が伸びる瞬間なのです。だから、たくさん経験しながら大好きなこと、夢中になれることを探してほしい。それを見付けるために学校がある。努力することは大切である。しかし、困ったときは、先生に質問や相談をしてほしい。みんなが夢や希望を探す手伝いをするのが先生の役割である。

三つ目は、ともに(友達と)学び合う学級、安心して生活できる居心地の良い学級を創ること。

居心地の良い学級にはいじめや仲間はずれはない。先生方もいじめや差別のない学級を創るために頑張る。でも、先生だけが頑張ってもむりがある。みんなは自分の学級をどんな学級にしたいのか。そのために、どんなことを頑張ればよいのかを話し合っしてほしい。それを学級の目標にしてほしい。居心地の良い学級は、誰かが創ってくれるのではない。みんなで決めて、みんなで創っていくのです。みんなが力を合わせて、ともに(友達と)学び合う学級、安心して生活できる居心地の良い学級を創り上げていこう。

おわりに、堂崎小学校には、3「あ」運動（あいさつ、あったか言葉、後片付け・整理整頓）という素晴らしいものがある。校長先生も同じ考えである。今年、3つの「あ」、「あいさつ」「ありがとう」「あとしまつ」を合い言葉にして取り組んでいこう。

皆さんと先生方で、「元気、本気、笑顔いっぱいの堂崎小学校」を創っていこう。



【6年生:



【始業式終了後行った、入学式の練習から】

の発表】